

柏崎再稼働の同意要請

経産相 新潟知事は慎重姿勢

斎藤健経産相は19日、東京電力柏崎刈羽原発（新潟県）の再稼働への同意を花角英世知事に要請し

たと明らかにした。21日に同省幹部を県や柏崎市、刈羽村に派遣。再稼働に必要な地元同意を自指し、働き

かけを本格化させる。ただ東電の不祥事への不信に加え、能登半島地震では原発事故時の避難の難題も顕在

化した。花角氏は慎重姿勢を崩していない。

同原発は全7基が停止中。東電は福島第1原発事故で事実上国有化され、政府は電力供給や経営再建に必要だとして、原子力規制委員会の審査に合格した柏崎刈羽6、7号機の再稼働を急ぐ。斎藤氏は19日の閣議後記者会見で、18日に花角氏に電話で要請したとし

た上で「理解を得られるよう、しっかりと説明に取り組む」と強調した。新潟県庁で取材に応じた花角氏は「お話は承りました」と答えた」と述べるにとどめた。柏崎刈羽原発ではテロ対策の不備が相次いで発覚。規制委が事実上の運転禁止を命じていたが、改善されたとして昨年末に解除した。